

座薬

小倉 一純

お尻が痛くなった。一日中、机に向かって書いていたら、痔になってしまった。

調べてみた。美人女医がネットで、放っておいても治る痔、薬をつければ治る痔、医者に診せてもらいたい痔、というのを懇切丁寧に説明している。

私のは、薬をつければ治る痔だった。ノズルつきの容器に軟膏の入ったタイプをしばらく使ってみた。効果はなかった。

今度はAmazonで、ボ○○ノールというステロイド入りの座薬を買ってみた。

座薬は頭部がやや大きいロケット型だ。腰を落としガニ股になったところで、肛門にそれを差し込む。ただ差し込むのではない。こいつは少しだけ中の方へ押し込んでやる必要がある。

だが、素手で行うと、指先に味噌がついてしまう。医療用のゴム手袋を使ってみることにした。薬と同様、Amazonで購入した。これがまた具合がいい。内側には粉がついて

いるからスルツと手が入る。伸縮性があるから大きな手の私でもMサイズで事足りる。

右手にこれを着けて、中指でスツと押し込んでみた。頭でっかちの固形物が肛門内部へ分け入って行く気配を感じる。ここまですくればしめたものだ。今度は、中腰からゆっくりと立ち上がる。すると、固形物は奇体にも、さらに奥へと、自ら侵入して行く。

手袋は、外すと裏返しになるから、そのままポイとゴミ箱に捨てる。

私は今朝、民放のおめざめニュースを見ていた。お台場の看板女子アナが液晶画面の向こうから、中腰の私の顔をのぞき込むようにしていった。

「おはようございます。ごきげんいかがでしょうか」

何ともいえない気持になった。

「お陰さまで、このごろは、具合もいいようです」

彼女は返事もしてくれなかった。